

事務事業名		大船渡市農業者年金協議会運営事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業
政策体系	政策名	05: 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間	
	施策名	20: 産地化をめざした農林業の振興				
	基本事業名	02: 農業の担い手の確保			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和52 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令						
所属	部課名	農業委員会			総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A) + (B) 0	
	係名	庶務係	電話	27-3111		
			内線	357		
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 主な事業は、担い手確保のための農業者年金の拡充強化を図ること、受給者の権利を守ることを目的として推進普及を図る協議会運営業務である。 主な業務内容は、 1. 事務局として会議開催、事業計画の立案・予算執行を行う。 2. 協議会へ賛助金として負担金を拠出する。 事業は大船渡市・JAおおふなの負担金、会員の会費により運営されている。 協議会の会員は受給者・加入者・その主旨に賛同する機関で構成されている。					全体計画 (期間限定複数年度のみ)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)							
手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) ・協議会への負担金の支出 ・事務局としての業務、年金普及特別対策年業務・家族経営協定手締結事業・特定処分対象農地等指導事業の実施 今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 前年度に同じ。		ア	会議開催数	回					
		イ	年金勧誘者数	人					
		ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・(直接)協議会 ・(間接)加入対象農業者		対象指標 (対象の大きさを表す指標)							
		カ	協議会決算額	円					
		キ	加入対象農業者	人					
		ク							
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 協議会に参画し、事務局事務を担うことで農業者年金制度普及を行なう。		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)							
		サ	協議会負担金	円					
		シ	加入者数	人					
		ス							
(2) 総事業費・指標等の推移									
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	30	30	30	30	30	30
	事業費計 (A)	千円	30	30	30	30	30	30	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	300	100	300	300	300	200
		人件費計 (B)	千円	1,200	400	1,200	1,200	1,200	800
	トータルコスト(A) + (B)		千円	1,230	430	1,230	1,230	1,230	830
活動指標		ア	回	3	1	1	2	2	1
		イ	人	0	0	38	24	20	20
		ウ							
対象指標		カ	円	168	90	155	166	200	200
		キ	人	200	200	158	152	94	94
		ク							
成果指標		サ	円	0	30	30	30	30	30
		シ	人	0	0	3	0	0	1
		ス							

事務事業ID	0751	事務事業名	大船渡市農業者年金協議会運営事業
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和46年農業者年金制度が発足し、農業者年金の普及拡大を目的とする協議会は、昭和52年旧大船渡市、昭和53年旧三陸町で設立された。当初設置市町村に対して補助金が支給された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 平成13年に旧大船渡市と旧三陸町が合併し、平成17年4月1日付旧大船渡市協議会に旧三陸町協議会が編入した。 活動については旧市町とも当初は、農協等の負担金も多額であり、会員より会費を徴収し、活発な運営をしていたが、平成5年には活動が縮小したことに伴い、会費の徴収を休止している。平成14年には新制度が施行されそれを機に著しく会員が減少した。同時期旧市町の合併があり2年間協議会活動を休止した。現在「普及対策特別対策3年間平成19年度～平成21年度」指定を機に協議会活動を再開した。 県内では奥州市・花巻市が合併を機に解散し、陸前高田市が解散する方向である。一関市は存続を検討している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 現在は関係機関、各地域より選出された14名の代議員の勧誘活動が主なものになっているが、代議員も高齢になり交替を願っている。 また、合併後協議会規約の整備が求められている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] 普及活動の強化のため協議会を設置し、特別対策事業など新たに設置する事業を、協議会事業に組み入れるなど大船渡市での普及事業を担ってきた。 農業者の老後の生活の安定のための政策年金の普及ということで妥当である。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 農業基本法に則した政策年金であること、市に設置義務のある特別対策班を協議会事業で行うなど効率化が図られていることより事務の効率化を図る上でも重要な役割を果たしている。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] 協議会へは負担金を拠出し、人員も配置している。間接的な対象・意図は、市の農業者の年金普及部門であることから、適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 従前の事務局主導の方法を改め、家族経営協定締結などを通して、同時に勧誘を薦める。 また、普及のみならず会員の権利を守るための活動として、経営移譲年金受給者の農地の管理を行うことで受給者の信頼を得、普及に繋げる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ・市の農業者年金事業のみでは、事務費等が不足であることから活動も縮小することになる。 ・市に特別対策班を設置する義務があるため、新たに設置する必要が出てくる。 ・農業者年金事業で蔵入される委託料約30万円のうち組織運営分72,000円分が減となる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] 協議会は、農業者年金受給者と被保険者等が構成員である当事者の組織であり、類似組織はないため。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 協議会への負担30,000円については、合併を機に旧三陸町の分が削減され、現在は旧市町からの繰越金を充当して活動している状況であり、繰越金がなければ、単年度実質収支は赤字であることより、これ以上の負担金額の減はできない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 会議開催、勧誘活動が主な仕事であり、会議に併せて説明会研修会を開催、農業委員会で特別加入3カ年のために設置を義務づけられた平成19年度～平成21年度は特別対策班を当初より協議会事業で実施するなど最大限の効率化が図られている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 会員会費については活動計画に応じ毎年総会で金額決定されるため妥当である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>市に設置義務のある平成19年度～平成21年度の特別対策班事業を協議会の事業として引き続き展開した。新たにパンフレットを設置のためのA支店回りをし、協力をお願いしたものの、加入に繋がらなかった。平成19年度～平成20年度勧誘した以外に戸別勧誘を行ったため実際に回ったのは、新規就農者に留まったが、家族経営協定締結を推進し締結させるなど、翌年に繋がる活動を行った。</p> <p>また、会員の受給権を守るため農地の現地調査・指導を行った。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・普及については協議会事務局主導と農業委員自主活動の二本立てで行う。 ・家族経営協定事業を推進しながら、普及活動を行い、結果として加入に繋げる。 ・受給者(会員)の利益を守る農地指導を農業委員と連携して行い、手厚くケアすることで、崩壊した旧制度 農業者年金への信用を回復させる。また、指導時には新しい対象者の発掘を行う。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>・農業者年金が政策年金であることを農業委員に理解し、協力してもらうため、協議会代議員と同じように研修に参加してもらう。 ・家族経営協定の年度目標数を全国農業新聞同様決定し、地域の農業委員に振り分ける。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農業委員会事務局長	
-------	-----------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input checked="" type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>		<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>勧誘活動内容を充実させることで、加入者拡大が期待される。農業委員を組み入れた加入活動とし、戸別訪問も回数を増やすことにより、加入者の増加に繋がり、事務局員の負担軽減にも繋がり、制度の安定に資する。一方、協議会規約では会費を納入することになっているが、個々に会費を徴収することは容易でないため徴収しておらず、徴収してまで協議会を運営していくべきか、協議会のあり方を含め検討していかなければならない。</p>																				
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>協議会活動の趣旨を説明し、農業委員の協力を積極的に進める。平成22年度中に協議会のあり方も含めて、検討していく。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
